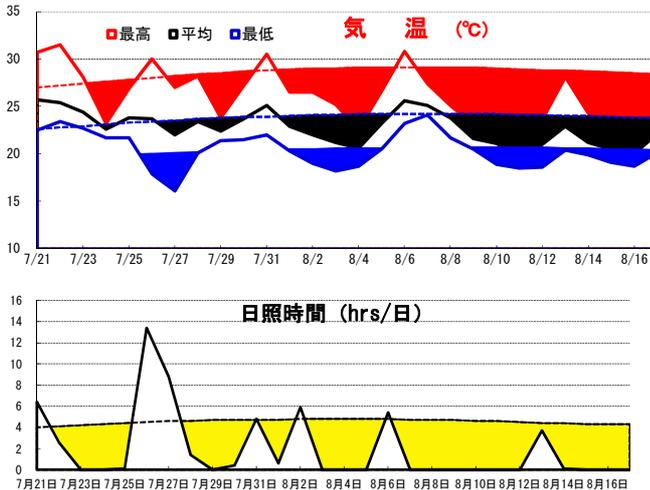


～日照不足, 登熟遅れ, いもち防除と落水時期に注意!!～

1 気象経過 (7月下旬～8月中旬:古川)



気温・日照の平年差比(°C)(時間%)

月旬	平均	最高	最低	日照時間
7月中旬	25.1	30.1	21.7	37.9
平年差・比	3.2	4.0	3.0	103%
7月下旬	23.8	27.9	21.0	37.9
平年差・比	0.5	0.0	0.9	83%
8月上旬	22.7	25.8	20.5	11.9
平年差・比	▲ 1.5	▲ 3.2	▲ 0.2	32%
8/中旬(17日まで)	21.1	23.7	19.3	3.8
平年差・比	▲ 2.9	▲ 5.0	▲ 1.2	13%

- ・ 7月23日～8月中旬まで低温傾向で最高気温が低い。
- ・ 7月下旬から日照時間が極端に少ない。
- ・ 8月に入り低温寡照で、日照時間は平年の20%程度

2 生育状況 [8月17日現在出穂状況]

区分	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
本年	7月29日	8月1日	8月11日
前年	7月29日	8月2日	8月11日
平年	8月1日	8月5日	8月11日
平年差	3日早い	4日早い	平年と同じ

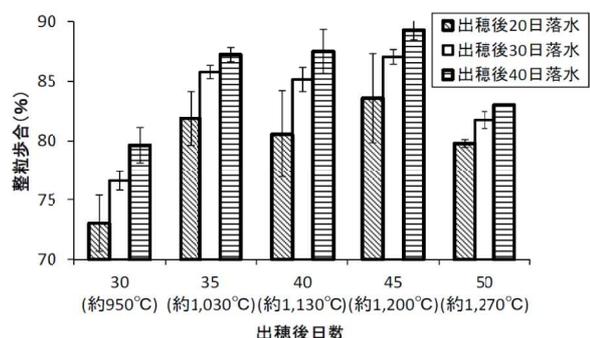
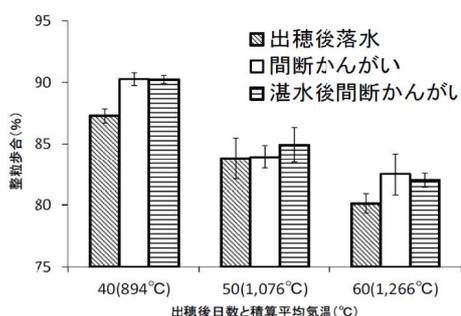
※ 平年値は平成19～28年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

- ・ 穂揃期は8月11日の平年並みとなったが、出穂期～穂揃期まで10日を要し、前年、平年より長い。
- ・ 出穂期を迎えた圃場は、98.4%となっている。

3 今後の管理

(1) 水管理

- ・ 日照不足により、充実度不足や白未熟等の品質低下や登熟歩合低下が懸念される。
- ・ できるだけ登熟を高めるため、「間断灌水等」で根の活力維持に努める。
- ・ 落水はできる限り遅くして登熟を高めるため、土壌や降雨状態等を判断して決める。登熟良化のため落水時期は、出穂後30日を目安とする。
- ・ 生育が、平年より遅れることが予想されるので、生育に合わせた用水確保を地域で検討する。



(2) いもち病

- ・感染好適日が全域的に出現しているため、圃場で発生状況を注意深く観察する。
- ・8月22日まで太平洋側を中心に低温や日照不足が続くため、穂いもちの発生が懸念される。
- ・穂いもちに弱い品種や防除を省略している場合等には、特に注意が必要である。
- ・一時的な雨の合間や小雨時防除（雨中散布）の防除効果が高があり、穂揃期、傾穂期の防除適期を逃さないように防除する。

アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況(BLASTAM 平成29年度)

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	江ノ島	仙台	名取	白石	蔵王	亘理	丸森
8/10	—	?	—	—	●	—	—	—	—	●	—	—	—	△	—	—	—	—	—	●	●	—
8/11	△	—	●	△	—	—	—	—	—	—	●	—	—	●	—	—	—	—	●	●	●	●
8/12	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	△
8/13	—	—	—	●	—	—	●	—	●	—	—	—	—	△	●	—	—	△	●	△	△	△
8/14	○	●	●	—	—	△	—	—	—	●	—	—	●	●	—	—	●	—	●	●	●	●
8/15	○	—	●	●	—	●	●	—	●	—	●	—	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●
8/16	○	—	●	—	—	—	●	—	●	—	●	—	—	●	●	—	—	—	△	△	—	●

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上, 平均気温15~25℃, 前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが, 前5日間の平均気温が条件からはずれている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合

いもち病の主な茎葉散布剤(農薬の登録は平成29年8月16日現在)

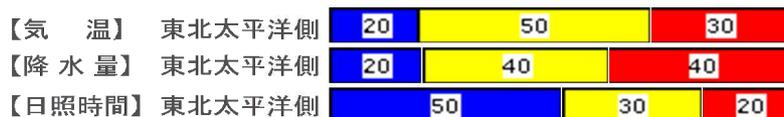
薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍率・使用量	作用機構分類 (FRACコード)
トライフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	1,000倍	U16
ノンプラス粉剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3~4kg/10a	U14, 16.1
ノンプラスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍	16.1
ビームゾル	収穫7日前まで	3回以内	1,000倍	
ビーム粉剤	収穫7日前まで	3回以内	3~4kg/10a	6
フジワン粉剤DL	収穫14日前まで	2回以内	3~4kg/10a	
ブラシンプロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍	U14, 16.1
ブラシンプ剤DL	収穫7日前まで	2回以内	3~4kg/10a	

※平成29年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋

〔参考〕今後の気象予報

- ・日照時間が少ない確率が50%となっており、気象情報に注意！！

【1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)】



◆週別気温経過の各階級の確率(%)



■ 低,少 ■ 並 ■ 高,多